

日语阅读辅导：老师的遗言 PDF转换可能丢失图片或格式，  
建议阅读原文

[https://www.100test.com/kao\\_ti2020/243/2021\\_2022\\_\\_E6\\_97\\_A5\\_E8\\_AF\\_AD\\_E9\\_98\\_85\\_E8\\_c105\\_243545.htm](https://www.100test.com/kao_ti2020/243/2021_2022__E6_97_A5_E8_AF_AD_E9_98_85_E8_c105_243545.htm) 若い下生の芥川之介と久米正雄に、夏目漱石が手をいたしたのは1916年（大正5年）の8月である。あせって一瞬の火花になるな。根よく牛になって押しなさい、といている夏目漱石在1916年（大正5年）8月给年轻的门生芥川之介与久米正雄写了封信。他说不要因为焦躁而成为一瞬间光亮的烟花，而要成为坚持不懈的牛去推动。「人を押すのです。文士を押しではありません」。文のつき合いにわされることなく、ただ一心に人をつめなさい、という教えだろう。4か月後に亡くなる漱石の言のようにもこえる“是去推动人类，而不是推动作家”。他的教谕并不是担心文坛的相互交往，而是希望一心注视着人类。也可以将这听作是4个月后去世的漱石的遗言。の言は守られなかった。作家の半藤一利さんは「手のなかの日本人」（文春新）にいている。久米はのちに文の世役として重きをなし、人を押さずに文士を押しした。芥川は牛にならず、火花になることを望んだと作家半藤一利先生在《信纸中的日本人》（文春新书）中写着，他们没有能遵守老师的遗言。那之后久米作为文坛的发起人没有抓住重点，不是推动人类而是去推动了作家。而芥川不希望成为牛，希望成为烟花一样的人。「鼻」「河童（かっぱ）」など数々の名作で知られる芥川が「唯（ただ）ぼんやりした不安」とき残し、35で自したのは1927年（昭和2年）の7月24日、まもなく没後80年を迎える以《鼻

》，《河童》等多部名作而成名的芥川留下了“只是有些不安”后，在35岁时自杀，那是1927年（昭和2年）7月24日。很快我们就将迎来他去世80周年纪念日了。文をたたえ、友人の菊池が「芥川」をしたのはの死から8年後である。一昨日の朝刊が、第137回の受者、哲史さん（37）（受作「アサッテの人」）の喜びの表情をえていた 赞赏他文学上的成就，他的朋友菊池创设‘芥川’是在受到他去世打击的8年后。前天的朝刊上刊登了第137回的获奖者哲史先生（37岁）（获奖作品《后天之人》）喜悦表情。あせってはいけません。牛になって、根よく人を押すのです。火花ではなく…。またひとり文の登をくぐりけた若い才能に、泉下の鬼才は直の言をりかけているだろう。不能焦躁。要成为牛，坚持不懈的去推动人类。不是烟花…。对于又一个穿越文坛登龙门的年轻才俊，泉下的鬼才肯定也在向他述说老师亲自传授的话吧。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 [www.100test.com](http://www.100test.com)